

令和7年度定時総会資料

令和7年6月9日

東三河懇話会

令和7年6月9日（月）
於：ホテルアークリッシュ豊橋

東三河懇話会 令和7年度定時総会次第

- 15:30～16:15 **定時総会** 5階 ザ・グレイス
議案1. 令和6年度事業報告並びに収支決算報告の件
議案2. 令和7年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件
議案3. 役員変更の件
- 16:20～17:30 **記念講演** 5階 ザ・グレイス
講師：国立大学法人 豊橋技術科学大学 学長 若原 昭浩氏
演題：「半導体開発の歴史から見る東三河の産業界
との連携について ～実は裾野の広い半導体技術～」
- 17:40～18:30 **交流懇親パーティー** 4階 ザ・テラスルーム

※定時総会・記念講演は、通常開催に加えてオンライン配信を実施

議 案 1. 令和 6 年度事業報告並びに収支決算報告の件

令和 6 年度事業報告

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

令和 6 年度は、円安に伴う旺盛なインバウンド需要に支えられた観光関連産業の復活など明るい兆しもありましたが、人口減少社会の進展もあり、人手不足が一段と深刻化しています。昨年発生した能登半島地震における復興はなかなか進まず、東三河でも共通する半島地区や過疎地域が被災した場合の復興のあり方など、地方の持続可能な姿について考えさせられる一年となりました。

このような状況のなか、産学官民交流事業における「東三河産学官交流サロン」、「東三河午さん交流会」は、オンラインの併用などの対応をとりながら、会員の皆さまの交流機会の創出継続に努めました。また、会員企業・団体の若手・女性社員を対象とした「東三河グローアップミーティング」を 2 回、香川県三豊市の内発的な地域創生を学ぶ「視察会」を開催するとともに、スマートリージョンプロジェクトの具現化に対する取組として、会員アンケート調査並びに、会員企業、行政、大学へのヒアリング・意見交換を実施し、ワーキンググループの立上げ準備を行いました。

広域連携事業では、東三河地域のインフラ整備事業に関する情報提供・勉強の場として「三河港関連事業計画等説明会」、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を三河港振興会と共催して本年初めて同時開催しました。また、6 月の定時総会記念講演会において、国土交通省 中部運輸局 局長の金子正志氏に『地域交通・物流・観光分野の課題と取り組み』をテーマにご講演いただきました。その他、研究交流会を通して三河港の各種課題や将来のあるべき姿について専門家と会員の皆さまが意見交換を行う「三河港未来戦略会議」、フォーラムの開催や参加団体活動見学会などを通して、東三河地域の生物多様性の保全に対する意識啓発と取組の活性化を図る「東三河生態系ネットワーク協議会」の事務局業務を担いました。

年明けには、新春恒例の「東三河 8 市町村長を囲む新春懇談会」を開催し、『DX 時代の広域連携 ～スマートリージョンをめざして～』をテーマにパネルディスカッションを行うとともに、中部経済同友会および浜松経済同友会と共催の「三遠南信地区地域懇談会」を 2 回開催し、行政や地域経済団体との連携強化に努めました。また、豊橋市との共催で東三河の未来をテーマとした「トークセッション&事例紹介」を開催しました。

会員サービス事業では、毎月 1 回、会員向けの「メールマガジン」を発行するとともに、ウェブサイトの「会員専用ページ」における会員関連情報などの特定情報の掲載に加え、会員の皆さまからいただいた各種情報をタイムリーにホームページに掲載しました。また、「東三河地域問題セミナー」など公益社団法人東三河地域研究センター主催事業の会員向け周知活動を支援しました。

不安定な国際情勢、日米金利差による円安の進行など先が見通せない状況が続いておりますが、新年度も会員の皆さまのニーズを的確に受け止め、事業運営に活かしていくとともに、新しい時代に即した地域づくりを推進するため、産学官民連携強化と交流促進に一層力を注いでまいります。会員の皆さまにおかれましては、今後も積極的なご参加をお願い申し上げます。

(1) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン

オンラインを併用して12回開催した。産学官民の交流連携、情報交換の場を提供するため、時流に沿ったテーマを設定（上期：デジタル活用、カーボンニュートラルなどの産業、危機管理、下期：産業（カーボンニュートラル、DX）、雇用、危機管理）の上、東三河の産学官民の講師を招聘し、タイムリーな情報を発信した。

（第474回～485回 詳細後記）

②東三河午さん交流会

計画通り10回開催した。東三河において社会活動や文化芸術活動を実践し、地域づくりに貢献されている方々を紹介し、会員への情報発信を行った。

（第241回～250回 詳細後記）

③東三河グローアップミーティング

「地域の価値を見つけてひらく」をテーマにemCAMPUSと協力し、若手会員相互の新しいつながりや、地域づくりを考えることからの学びと自己成長を目的とした視察会とワーキングを開催した。

（詳細後記）

④視察会

10月に、「香川県三豊市 ローカルスタートアップ&ベーシックインフラ フィールドワーク」として現地視察会を実施した。

（詳細後記）

⑤特別講演会

11月に特別講演会として「東三河の農業とアーバンファーマーミング」を実施した。

（詳細後記）

⑥その他

スマートリージョンプロジェクトにおけるプロジェクト具現化に向けた取組として、「会員アンケート調査」、並びに会員企業、行政、大学へのヒアリング・意見交換を実施し、ワーキンググループの立上げ準備を行った。

(2) 広域連携事業

①東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業として、東三河地域における共通の課題・テーマにおいて、東三河8市町村長によるパネルディスカッションを実施した。『DX時代の広域連携 ～スマートリージョンをめざして』をメインテーマとして、東三河の将来の展望や各市町村の役割など、活発な議論が行われた。なお、地元ケーブルテレビ3局による生中継、YouTubeを活用したオンライン配信を実施した。

（詳細後記、会報誌MIKAWA-NAVI特別号に掲載）

②三河港未来戦略会議

「自動運行船で実現する未来世界と自動運行船の開發現状」、「学び見て体験する最新の環境船と高度な建造技術」、「サステナブルな港湾の経営と戦略」をテーマに公益社団法人東三河地域研究センターとともに研究交流会を3回開催した。

（詳細後記）

③東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、SDGs（持続可能な開発目標）の目標である「14.海の豊かさを守ろう」、「15.陸の豊かさも守ろう」を中心に活動を展開した。今年度は、月例役員会のほか、リーフレット活用による「協議会への参加呼び掛け」の取組、参加団体活動紹介による「ホームページコンテンツ」の拡充、並びに交付金対象事業として7月に「自然観察バスツアー」、11月に豊橋市で「東三河生態系ネットワークフォーラム2024」、同じく豊川市で「参加団体活動見学会」を開催するなど、生態系保全の重要性について理解を深めていただく活動を行った。

④地域インフラ事業の説明会

7月に令和6年度「三河港関連事業計画等」、並びに「東三河地区幹線道路整備計画」説明会を会場とオンライン併用にて、三河港振興会との共催で、同時開催した。

(詳細後記)

⑤各種団体との連携・協力

中部経済同友会、浜松経済同友会、三河港振興会、豊橋市等との連携・協力により、会員交流や産学官民連携に向けたセミナーや講演会などの取組を実施した。

(詳細後記)

(3) 会員サービス事業

①広報活動の一層の推進

会員サービス事業では、ウェブサイトの「会員専用ページ」に、会員関連情報などの特定情報を閲覧できるよう提供した。また、会員の皆さまからの有用な情報をタイムリーに本会のホームページに無償で掲載するサービスを実施した。

②会員意見の収集と運営への活用

地域づくりや本会の活動等に関するニーズを把握し、現状活動内容の見直しを行うため、事業活動における会員からの意見集約に努めた。

③会員サービスの質的向上

公益社団法人東三河地域研究センターとの情報共有と連携強化を図り、同センターが保有するシンクタンク機能を活用し、会員にとって有益な産学官民交流及び広域連携事業の充実を進めた。

④公益社団法人東三河地域研究センター催事の支援

公益社団法人東三河地域研究センター主催で「東三河地域問題セミナー」を3回開催した。また、4校の高校生が参加した「ミライカフェほの国2025」、地元大学生による「東三河地域関連研究発表会」の支援を実施した。

(詳細後記)

(4) 会員増強

○新入会

[法人会員] 4口

- ・株式会社レボインターナショナル
- ・共和印刷株式会社
- ・マルシメ株式会社
- ・株式会社森田グループ

[個人会員] 1口

- ・水野 恵

[特別会員] 1口

- ・湖西市

(入会順・敬称略)

運営の部

1. 定時総会

令和6年6月13日(木) 15:30～17:30

於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス

・議事

議案1. 令和5年度事業報告並びに収支決算報告の件

議案2. 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

議案3. 役員改選の件

- ・記念講演 国土交通省 中部運輸局 局長 金子 正志氏

「地域交通・物流・観光分野の課題と取り組み」

出席者：119名(オンライン8名含む：講演後、交流懇親パーティー実施)

2. 理事会

令和6年5月15日(水) 11:00～11:40

於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス(オンライン配信も実施)

3. 会員数及び口数の状況

(1) 入 会	法人会員	4社	(4口)
	特別会員	1市	(1口)
	個人会員	1名	(1口)
退 会	法人会員	3社	(3口)
	個人会員	1名	(1口)
減 口	法人会員	1社	(1口)

(2) 令和7年3月31日現在会員数

法人会員	166社	(193口)
個人会員	6名	(6口)
特別会員	13団体	(31口)
推薦会員	1名	—

資料（事業の詳細）

1. 東三河産学官交流サロン 公益社団法人東三河地域研究センターと共催 (年 12 回、18:00～20:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス)

第 474 回 R6.4.23 参加者 87 名 (オンライン 4 名含む)

- ・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授 齊藤 大樹氏
「能登半島地震から学ぶ建物の耐震性」
- ・イオンモール豊川 ゼネラルマネージャー 園谷 益男氏
「イオンモールは『商業専門ディベロッパー』から『地域共創業』へ」

第 475 回 R6.5.22 参加者 78 名 (オンライン 10 名含む)

- ・公益財団法人豊橋市国際交流協会 会長 松井 孝悦氏・事務局長 竹岡 美代子氏
「外国人に選ばれるまち“TOYOHASHI”へ」
- ・愛知大学 国際コミュニケーション学部 准教授 伊藤 潤氏
「日本における危機管理 DX の現在地 ～能登半島地震にみる災害情報共有システムの課題～」

第 476 回 R6.6.25 参加者 80 名 (オンライン 6 名含む)

- ・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 助教 崔 明姫氏
「豊橋新城スマートインターチェンジ(仮称)の開設に伴う観光展開の可能性について」
- ・株式会社ミダックホールディングス 代表取締役社長 加藤 恵子氏
「女性税理士が産廃会社を東証一部に上場させるまで」

第 477 回 R6.7.16 参加者 74 名 (オンライン 11 名含む)

- ・前 豊橋ステーションビル株式会社 代表取締役社長 浅野 卓氏
「デジタル化、マーケティングの取り組みが組織・地域を活性化する
～豊橋ステーションビルの挑戦～」
- ・愛知大学 名誉教授 樋口 義治氏
「学習心理学の視点から災害時避難行動と避難訓練を考える」

第 478 回 R6.8.27 参加者 56 名 (オンライン 6 名含む)

- ・豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 准教授 秋葉 友良氏
「機械翻訳対の Language Exchange ～互いに教え合う機械学習法～」
- ・株式会社トヨコン 代表取締役社長 明石 耕作氏
「ビジョン経営で変革を」

第 479 回 R6.9.24 参加者 61 名 (オンライン 7 名含む)

- ・愛知工科大学 工学部情報メディア学科 教授 加藤 高明氏
「デジタルで、地域や社会を元気に！」
- ・株式会社ガイア国際センター 代表取締役 楠田 祐里氏
「東三河における外国人雇用成功事例と失敗事例」
- ・一般社団法人ガイア国際交流研究所 (ガイア社団) 常務取締役 楠田 壮史氏
「ガイア社団の活動報告や今後のビジョンについて」

第 480 回 R6.10.22 参加者 62 名（オンライン 7 名含む）

- ・豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 准教授 竹内 啓悟氏
「6G における新技術 ～通信とセンシングの統合～」
- ・愛知県立御津あおば高等学校 校長 森田 恭弘氏
「地域のニーズに応える人材育成 ～学校教育の現場から～」

第 481 回 R6.11.19 参加者 82 名（オンライン 14 名含む）

- ・愛知大学 国際中国学研究センター所長、経済学部 教授 李 春利氏
「自動車産業の未来と現代中国 ～電気自動車の行方～」
- ・豊橋鉄道株式会社 代表取締役社長 岩ヶ谷 光晴氏
「つなぐ豊鉄 はじまる未来 ～地域とともに～」

第 482 回 R6.12.18 参加者 74 名（オンライン 6 名含む）

- ・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 助教 豊田 将也氏
「東三河の水害(洪水・高潮・気候変動)に係る危機管理について」
- ・中部電力パワーグリッド株式会社 豊橋支社 支社長 小林 敏博氏
「停電時における電力復旧について」

第 483 回 R7.1.21 参加者 62 名（オンライン 10 名含む）

- ・愛知大学 地域政策学部 教授 本多 尚子氏
「東三河から育てるグローバル人材
～愛知大学地域政策学部特化型ベトナム(ハノイ)・インターンシップ事例を中心に～」
- ・愛知県立時習館高等学校 校長 寺田 安孝氏
「中高一貫教育と国際的な教育プログラムの導入」

第 484 回 R7.2.25 参加者 55 名（オンライン 3 名含む）

- ・豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 横山 博史氏
「ものづくりにおけるデジタル技術の活用」
- ・マルシメ株式会社 代表取締役社長 大熊 康丈氏
「化石化しないための其ノ一、老舗油屋の悪あがき」

第 485 回 R7.3.18 参加者 50 名（オンライン 4 名含む）

- ・豊橋創造大学 保健医療学部 理学療法学科 助教 塚田 晋太郎氏
「災害後のリハビリテーション医療活動と災害関連死の予防」
- ・一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー マーケティングディレクター 田中 三文氏
「インスタグラムによる情報発信の実践」

2. 東三河午さん交流会 公益社団法人東三河地域研究センターと共催

(年 10 回、5、1 月を除く毎月第 1 金曜日を原則 11:30~13:00

於：ホテルアークリッシュ豊橋 4 階 ザ・テラスルーム)

第 241 回 R6.4.5 参加者 41 名

- ・鳳来寺山自然科学博物館 学術委員 中西 正氏
「ピースボートで 見たこと・聞いたこと・考えたこと」

第 242 回 R6.6.7 参加者 40 名

- ・井指製茶株式会社 代表取締役社長 井指 宏隆氏 / 「1_34cafe」店長 井指 りか氏
「創業 78 年の製茶会社が新たな挑戦」

第 243 回 R6.7.5 参加者 30 名

- ・Wood Works 時不知 倉澤 真氏
「主役ではなく脇役をめざそう ～地域を引き立て自分を育てる新しい社会のつながり方～」

第 244 回 R6.8.2 参加者 35 名

- ・株式会社ゆたかわ 代表取締役 石川 卓哉氏
「流域農業で上流と下流、生産者と生産者、生産者と消費者を結ぶ」

第 245 回 R6.9.6 参加者 36 名

- ・BEST GREEN FARM 千賀 吉晃氏
「2 代目農家の挑戦 ～田原でアボカド栽培を始めたわけ～」

第 246 回 R6.10.4 参加者 27 名

- ・Le. sits 株式会社 (レンッズ) 代表取締役 陶山 剛臣氏
「ゴミになる前にやれること ～みんなの知らない本草について～」

第 247 回 R6.11.1 参加者 35 名

- ・東郷ブランド米事業検討会 会長 加藤 稜唯氏
「地域で作るブランド米『決戦の刻』」

第 248 回 R6.12.6 参加者 33 名

- ・alice garden design 浅田 つや子氏・浅田 拓也氏
「RHS Chelsea Flower Show 初出展と『ありすめそっど』について」

第 249 回 R7.2.7 参加者 34 名

- ・奥三河公式 PR 大使・動画クリエイター 岸 かなえ氏
「ライダーの特性と地域の魅力を活かした地域活性化、その為の SNS 活用方法」

第 250 回 R7.3.7 参加者 31 名

- ・豊川市赤塚山公園「ぎょぎょランド」飼育係長 杉浦 篤史氏
「豊川調査と赤塚山公園の活動 ～生物多様性を守るためにできること～」

3. 東三河グローアップミーティング

令和6年度 第1回東三河グローアップミーティング視察会&グループワーク

「花王豊橋工場視察&ワークショップ ～ものづくり&物流の未来を考える～」

(R6.7.17 9:00～13:30 於：花王株式会社豊橋工場、emCAMPUS STUDIO ROOM #1)

花王株式会社豊橋工場の視察、並びに未来のものづくりと物流に関するグループワーク

参加者：24名

令和6年度 第2回東三河グローアップミーティング視察会

「STATION Ai 視察会&スタートアップピッチ」

(R7.3.6 13:00～15:30 於：STATION Ai)

STATION Ai の視察、スタートアップ企業によるピッチイベントと意見交換

参加者：18名

4. 視察会

香川県三豊市ローカルスタートアップ&ベーシックインフラ フィールドワーク

(R6.10.9～10.10)

「内発的な地域創生」を学ぶ視察会。各ローカルプロジェクトの施設見学やローカルプレイヤーによるプレゼンテーションをはじめ、地域企業、プレイヤーを巻き込んだプロジェクトモデルの仕組みや構造の裏側を学ぶ。

(視察した施設)

瀬戸内・暮らしの大学、父母ヶ浜、八咫スタジオ、URASHIA VILLAGE(宿泊)

THE CAPE、宗店街、みんなでブリュワリー、ニュー新橋、積風、DEMI 1/2

RACATI、UDON HOUSE、おむすび座

参加者：11名

5. 令和7年 東三河8市町村長を囲む新春懇談会

(R7.1.8 14:30～17:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス)

テーマ：『DX時代の広域連携 ～スマートリージョンをめざして～』

内容：東三河8市町村長によるパネルディスカッション

【パネリスト】

豊橋市長	長坂 尚登氏
豊川市長	竹本 幸夫氏
蒲郡市長	鈴木 寿明氏
新城市長	下江 洋行氏
田原市長	山下 政良氏
設楽副町長	久保田美智雄氏
東栄町長	村上 孝治氏
豊根村長	伊藤 浩亘氏

【コーディネーター】

豊橋技術科学大学 前学長/東京大学 名誉教授 大西 隆氏

参加者：178名

※17:30～ 賀詞交歓会 (132名参加)

6. 三河港未来戦略会議

第 68 回研究交流会 (R6. 5. 28 14:00~16:00 於：豊橋商工会議所 4 階 406 会議室)

講 師：株式会社 MTI 船舶物流技術グループ 自律船チーム長 中村 純氏

演 題：「自動運航船で実現する未来世界と自動運航船の開発現状」

参加者：32 名

第 25 期報告総会・記念講演会 (R6. 6. 26 13:00~15:00 於：豊橋商工会議所 5 階 508 会議室)

講 師：一般社団法人日本 EV クラブ 代表理事/自動車評論家 館内 端氏

演 題：「EV 時代到来、ほんとうに EV でいいのか？」

参加者：41 名

視察会 (R6. 10. 16 9:00~18:00)

視察先：新興津コンテナターミナル、清水港管理局

富士山しみず港クルーズ (クルーズ船より清水港視察)

参加者：18 名

第 69 回研究交流会&視察会 (R7. 1. 17 9:30~11:30 於：株式会社新来島豊橋造船構内)

講 師：株式会社新来島豊橋造船 執行役員 技術部長 宮本 雅広氏

演 題：「学び見て体験する最新の環境船と高度な建造技術」

視察会：建造ドックをはじめとする造船施設の見学

参加者：36 名

第 70 回研究交流会 (R7. 3. 10 13:30~15:30 於：emCAMPUS STUDIO 5F SEMINAR ROOM A・B)

講 師：政策研究大学院大学 客員教授 工学博士 井上 聰史氏

演 題：「サステナブルな港湾の経営と戦略」

参加者：34 名

7. 講演会、懇談会等

令和 6 年度「三河港関連事業計画」・「東三河地区幹線道路整備計画」説明会 [三河港振興会と共催]

(R6. 7. 8 13:30~16:00 於：ライフポートとよはし 中ホール)

(三河港関連)

講 師：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所長

東野 隆之氏

愛知県 三河港務所長

塚上 久司氏

(道路関連)

講 師：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所長

鈴木 克章氏

国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所長

白井 宏明氏

国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所長

田中 康寛氏

愛知県 東三河建設事務所長

齊藤 保則氏

愛知県 新城設楽建設事務所長

佐藤 公康氏

参加者：201 名 (オンライン 33 名含む)

特別講演会 (R6.11.11 15:30~17:00 於: emCAMPUS STUDIO 5F SEMINAR ROOM A・B)

講師: プランティオ株式会社 代表取締役 CEO 芹澤 孝悦氏

演題: 「東三河の農業とアーバンファーマーミング」

参加者: 38名

トークセッション&事例紹介 [豊橋市と共催]

(R7.3.21 15:00~17:00 於: MUSASHi Innovation Lab CLUE)

第1部 トークセッション

スピーカー①: 株式会社 MTG Ventures 代表取締役社長 藤田 豪氏

スピーカー②: 武蔵精密工業株式会社 常務執行役員 CIO 伊作 猛氏

テーマ: 「東三河の未来 ~共創で発展させる地域産業~」

第2部 地域企業とスタートアップによる共創実践事例

事例紹介①: 株式会社丸金商会 代表取締役社長 竹内 裕二氏

株式会社 knewit 代表取締役 CEO 小川 直哉氏

テーマ「”物流DX”でCS(顧客満足度)もES(従業員満足度)も向上！」

事例紹介②: ワルツ株式会社 営業企画グループ マネージャー 小林 重仁氏

株式会社モリロボ 代表取締役社長 森 啓史氏

テーマ「食品卸企業がロボットで新規事業創出」

参加者: 35名

三遠南信地区懇談会 [中部経済同友会、浜松経済同友会と共催]

(R7.3.4 16:00~19:00 於: ホテルアークリッシュ豊橋 4階 ザ・テラスルーム)

講師: 野村證券株式会社 金融公共公益法人部 主任研究員 和田 理都子氏

演題: 「人口2/3激減時代と転換点を迎えた三遠南信地区

~自治体データ詳細分析: 痛みを伴う激変から新たな未来の模索へ~」

参加者: 39名 (東三河懇話会 19名)

公益社団法人東三河地域研究センター 総会・記念講演会

(R5.11.20 15:00~17:30 於: ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス)

講師: 中部電力株式会社 代表取締役会長/株式会社東芝 取締役/内閣官房 GX 実

行会議構成員/外務省 国際社会の持続可能性に関する有識者懇談会委員

勝野 哲氏

演題: 「持続的成長に向けて」

参加者: 93名 (オンライン 14名含む)

8. 報告書

(R6.5.17)

令和5年度の「産学官による新しいネットワークづくりワーキング」において東三河地域で顕在化している課題等をテーマとして議論を重ね、愛知大学短期大学部森川竜哉准教授にご協力いただき、「東三河地域における若者の雇用・定着」について報告書として取りまとめ、ホームページに掲載した。

9. 「スマートリージョン研究会」プロジェクトの具現化

1. スマートリージョンプロジェクト「人材育成・確保分野」に係る会員アンケート調査を実施した。

実施期間：令和7年2月10日（月）～2月28日（金）

対象数：185（法人166社、個人6名、特別13団体）※推薦会員1名除く

回答方法：「Google Form」（※記名式）

回答数：56（法人54社、個人0名、特別2団体）

回答率：30.2%（法人32.5%、個人0%、特別15.4%）

※スマートリージョンプロジェクトの「人材育成・確保分野」における『デジタルを活用した人材育成事業』として、①まちづくりデータ活用／まちづくりDX、並びに②企業×学生（×東三河）協働による課題解決、の2つのテーマを融合した地域プロジェクトを推進することにより、デジタルに関する知識を深めることで地域の人材育成に繋がるとともに、プロジェクトの具現化による新規事業創出や社会課題解決により東三河地域の人材確保に繋がっていくことを前提に「人材育成・確保分野」に係るアンケート調査を実施した。

2. アンケート結果をもとに、会員企業・行政・大学へのヒアリング・意見交換を実施した。

10. 東三河地域問題セミナー（主催：公益社団法人東三河地域研究センター）

2023年度 第3回公開講座(R6.7.23 14:00～16:30 於：豊橋商工会議所 4階 401会議室)

講師：岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授 能島 暢呂氏

演題：「震災におけるライフライン被害・復旧と備えておくべきこと」

参加者：48名

2024年度 第1回公開講座(R7.3.3 14:00～16:30 於：豊橋商工会議所 4階 406会議室)

講師：三重大学 大学院 工学研究科 建築学専攻 准教授

東京大学先端科学技術研究センター 准教授 近藤 早映氏

演題：「空き家化の派生抑制に資する施策と効果」

参加者：35名

11. ミライカフェほの国2025（主催：公益社団法人東三河地域研究センター）

(R7.2.8 10:30～15:30 於：emCAMPUS STUDIO SEMINAR ROOM A・B・C)

内容：地元高校生によるビジネスプラン発表とグループワーク

参加者：57名（高校生31名、大学生・社会人メンター11名）

12. 東三河地域関連研究発表会（主催：公益社団法人東三河地域研究センター）

第31回東三河地域関連研究発表会 (R7.3.13 13:00～16:30 於 emCAMPUS FOOD)

内容：地元4大学の学生8名による東三河地域に関連した研究テーマの発表

参加者：43名（オンライン3名含む）

13. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

- (1) 一般社団法人中部経済連合会
- (2) 公益財団法人中部圏社会経済研究所
- (3) 一般財団法人東海産業技術振興財団
- (4) 一般社団法人奥三河ビジョンフォーラム
- (5) 愛知県港湾協会
- (6) 三河港振興会
- (7) 豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会
- (8) 伊勢湾再生海域検討会
- (9) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (10) 特定非営利活動法人穂の国森づくりの会
- (11) 特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム
- (12) 東三河流域フォーラム
- (13) 一般国道151号改良促進期成同盟会
- (14) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (15) 一般社団法人豊橋観光コンベンション協会
- (16) 公益財団法人豊橋市国際交流協会
- (17) 公益財団法人豊橋文化振興財団
- (18) 豊橋日独協会
- (19) とよはし市電を愛する会
- (20) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (21) 530運動環境協議会
- (22) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

収支決算報告

令和6年度
収 支 決 算 書
 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

収入決算額	37,240,748円
支出決算額	31,126,013円
差引残高	6,114,735円

《 収 入 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 会費収入	25,698,000	25,848,000	150,000	100.6%	
1) 法人会費	22,920,000	23,070,000	150,000	100.7%	
2) 個人会費	360,000	360,000	0	100.0%	
3) 特別会費	2,418,000	2,418,000	0	100.0%	
2. 事業収入	4,552,000	5,041,722	489,722	110.8%	
1) 産学官交流サロン	2,620,000	2,810,222	190,222	107.3%	
2) 午さん交流会	1,257,000	1,296,000	39,000	103.1%	
3) 新春懇談会	120,000	132,000	12,000	110.0%	
4) その他の事業	555,000	803,500	248,500	144.8%	
3. その他の収入	1,030,600	1,094,468	63,868	106.2%	
1) 特定預金取崩収入	0	0	0	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
② 財政調整引当預金	0	0	0	0.0%	
2) 雑収入	1,030,600	1,094,468	63,868	106.2%	
① 受取利息	600	12,468	11,868	2078.0%	
② 雑収入	1,030,000	1,082,000	52,000	105.0%	
当期収入合計	31,280,600	31,984,190	703,590	102.2%	(A)
前期繰越収支差額	5,256,558	5,256,558	0	100.0%	
収入合計	36,537,158	37,240,748	703,590	101.9%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 運営事業費	1,439,000	847,282	△ 591,718	58.9%	
1) 総会・理事会費	825,000	818,892	△ 6,108	99.3%	総会資料
2) 広報費	14,000	14,000	0	100.0%	会報誌発行
3) 講演・説明会費	600,000	14,390	△ 585,610	2.4%	
2. 事業費	7,780,000	6,552,515	△ 1,227,485	84.2%	
1) 産学官交流サロン	3,600,000	3,645,561	45,561	101.3%	
2) 午さん交流会	1,240,000	1,157,227	△ 82,773	93.3%	
3) 新春懇談会	740,000	714,139	△ 25,861	96.5%	
4) その他の事業	2,200,000	1,035,588	△ 1,164,412	47.1%	
3. 調査・研究費	11,624,000	11,682,090	58,090	100.5%	
1) 調査・研究費	8,566,000	8,616,000	50,000	100.6%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,058,000	3,066,090	8,090	100.3%	
4. 管理費	9,443,800	8,987,861	△ 455,939	95.2%	
1) 給料手当	3,596,000	3,586,010	△ 9,990	99.7%	
2) 福利厚生費	670,000	602,247	△ 67,753	89.9%	
① 福利厚生費	30,000	4,539	△ 25,461	15.1%	
② 法定福利費	640,000	597,708	△ 42,292	93.4%	
3) 会議費	10,000	9,870	△ 130	98.7%	
4) 旅費交通費	48,000	25,980	△ 22,020	54.1%	
5) 通信運搬費	555,000	524,552	△ 30,448	94.5%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	457,000	391,046	△ 65,954	85.6%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	457,000	391,046	△ 65,954	85.6%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	60,000	0	△ 60,000	0.0%	
9) 新聞・図書費	192,000	192,840	840	100.4%	
10) 水道光熱費	440,000	269,235	△ 170,765	61.2%	
11) 賃借料	2,956,800	2,956,800	0	100.0%	事務所賃借料
12) 交際費	36,000	20,917	△ 15,083	58.1%	
13) 諸会費	353,000	347,000	△ 6,000	98.3%	他団体の年会費等
14) 雑費	70,000	61,364	△ 8,636	87.7%	
5. その他の支出	956,265	3,056,265	2,100,000	319.6%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	956,265	3,056,265	2,100,000	319.6%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
② 財政調整引当預金	900,000	3,000,000	2,100,000	333.3%	
当期支出合計	31,243,065	31,126,013	△ 117,052	99.6%	(C)
当期収支差額	37,535	858,177	820,642		(A) - (C)
次期繰越収支差額	5,294,093	6,114,735	820,642		(B) - (C)

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1)現金	220,173		
(2)預金	7,303,432		
(3)未収入金	8,000		
(4)前払金	246,400		
流動資産合計		7,778,005	
2. 固定資産			
(1)設備什器備品	14,071		
(2)電話加入権	213,000		
(3)敷金	2,688,000		
(4)減価償却引当特定預金	2,808,134		
(5)事務所移転費用積立預金	200,000		
(6)財政調整引当預金	4,098,000		
固定資産合計		10,021,205	
資産合計			17,799,210
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1)未払金	589,401		
(2)預り金	825,012		
流動負債合計		1,414,413	
負債合計			1,414,413
III. 正味財産の部			
正味財産			
(うち当期正味財産増加額)			16,384,797 (3,858,177)
負債及び正味財産合計			17,799,210

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	858,177	
減価償却引当特定預金増加額	56,265	
財政調整引当預金増加額	3,000,000	
資産増加額計		3,914,442
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
増加額合計		3,914,442
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
財政調整引当預金減少額	0	
資産減少額計		56,265
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
減少額合計		56,265
当期正味財産増加額		3,858,177
前期繰越正味財産額		12,526,620
期末正味財産合計額		16,384,797

監 査 報 告 書

東三河懇話会
会長 神野 吾郎 殿

東三河懇話会の、令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和7年5月7日

東三河懇話会

監 事 豊橋信用金庫 常務理事・事業支援部長

宮 川 直 樹 印

監 事 株式会社三菱UFJ銀行 豊橋支店長

小 川 貴 弘 印

監 事 中部電力パワーグリッド株式会社 豊橋支社 東三河地区統括長

中 村 光 印

議案2. 令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

令和7年度事業計画(案)

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

1. 基本方針

本年度は、年初に誕生したアメリカの第2次トランプ政権の中国との覇権争いを視野に入れた関税政策により、株式市場や債券市場などマーケットの混乱が続いています。また、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、イスラエルとハマスの対立に端を発した中東情勢の不安定化、グローバルサウスの台頭、ヨーロッパにおける極右政党の台頭、韓国の政治情勢の不安定化など国際情勢は大きな転換期を迎えていることに加え、国内では人口減少や少子高齢化、人手不足、社会保障費の拡大、財政赤字、エネルギー問題、デジタル化やグローバル化への対応の遅れなどの構造的課題が山積しており、加えてアメリカの関税政策によって自動車産業を中心に当地域における企業活動や消費活動にも少なからず影響が及ぶことが懸念されます。

このような状況下において、地域課題の解決から新たな価値を創造し、住民本位で持続的発展が可能な地域社会の実現を目指す取組が必要となっています。また、企業の事業継続や持続的成長のため、地域の人的資源の有効活用に加え、高度なデジタル技術を取り入れたサービスや新製品の開発、新規事業の立ち上げ、スタートアップ企業との連携など多彩な取組が求められています。

今年度はこうした背景を踏まえ、「東三河産学官交流サロン」をはじめとする産学官民交流事業につきましては、持続可能な地域を実現するための視点をテーマとして設定し、オンラインを併用しながら事業を推進してまいります。また、地域の課題解決のヒントとなる講演会や視察会を企画し、産学官民交流の新たな場づくりにつながる取組を行っていくとともに、公益社団法人東三河地域研究センターにおける「スマートリージョン研究会」に係るプロジェクトの具現化に対する取組支援を推進するためのワーキングを進めてまいります。

広域連携事業につきましては、関係機関との良好な関係を保持するとともに、「東三河8市町村長を囲む新春懇談会」、「東三河に係る地域インフラ事業説明会」、「三河港未来戦略会議」における研究交流会や視察会、また関係団体と連携した「特別講演会」の開催などを通じて、会員の皆さまに有用な情報を提供してまいります。

会員サービス事業につきましては、ホームページにおけるタイムリーな情報提供に加え、本会に関する事業計画や会員の皆さまからご提供いただいた情報を集約した「メールマガジン」を毎月発行する取組を継続してまいります。その他、公益社団法人東三河地域研究センターとの一層の連携強化に努めるとともに、有益な情報の提供と会員サービスの充実に取り組んでまいります。

まだまだ先行きが不透明な状況が続きますが、今後も会員の皆さまとの結束力を一層高めながら地域のつながりを進めるネットワークセンターの役割を果たし、「東三河はひとつ」を合言葉に、未来に向けた地域づくりを鋭意進めていく所存です。

2. 事業計画

(1) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン（12回／年）

産学官民の交流連携、情報交換の場をオンライン併用にて提供。半期ごとにテーマを設け、東三河の産学官民の講師や外部講師を招聘し、会員にとって「知」の場となるタイムリーな情報を発信する。また、新しい企画の実施などにより、会員との双方向のコミュニケーション促進を図る。

②東三河午さん交流会（10回／年）

地域に密着したさまざまな話題をピックアップ。主に、東三河において社会活動や文化芸術活動を実践し、地域づくりに貢献されている方々を紹介し、会員への情報発信を行う。

③東三河グローアップミーティング（2回／年）

本会会員の次世代を担う人材の育成と、地域の価値を発見・認識することによる地域への理解や愛着を深めることを目的とし、「地域の価値を見つけてひらく」をテーマに、講演会・勉強会等を通じて学び、成長したいと考えている方々が集い、交流する場を創出する。本年度も emCAMPUS と協力を行い、本会の会員の若手メンバーと、会員外団体等の若手との交流機会を設けることにより、地域の人的ネットワークの充実を図る。

④特別講演会

デジタルツールの活用や人的資源の活用方法、地域問題に対する取組事例など、経済社会環境の変化に対応し、東三河地域の持続的な発展のヒントとなる内容の講演会を検討し、実施する。

⑤視察会

経済社会環境の変化や、東三河において話題となっている地域テーマを選定し、東三河地域の持続的な発展や、広域的な連携の参考となる場所、施設等の視察会開催を検討し、実施する。

⑥「スマートリージョン研究会」の具現化

公益社団法人東三河地域研究センターにおける「スマートリージョン研究会」に係るプロジェクトの具現化に向けて、同センターと連携しプロジェクトのワーキングをスタートする。

(2) 広域連携事業

①東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業。東三河地域における共通の課題・テーマに関し、東三河8市町村長にゲストパネラーとして湖西市長を加えたパネルディスカッションにより、東三河のこれからの姿を展望するとともに、会員をはじめ地域住民に広く情報発信する。

②三河港未来戦略会議

三河港振興会・自動車港湾委員会等と連携をとりながら研究活動を計画。三河港を中心として、広域幹線道路などの広域インフラの整備、DX化等による効率化、カーボンニュートラルポートの形成や経済活動などに関わる事業活動について、未来を見据えながら調査研究を進めるとともに、公益社団法人東三河地域研究センターが主催する研究交流会・視察会、会員企業と連携したプロジェクトの検討についてサポートを行う。

③東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、SDGs（持続可能な開発目標）の目標である「14.海の豊かさを守ろう」、「15.陸の豊かさを守ろう」を中心に活動を展開し、自然とのふれあい体験事業や生態系フォーラムを開催するとともに、協議会加入団体の活動への支援・協力、並びに企業や団体の協議会への参加呼び掛けを実施する。また、愛知県からの受託事業として「生物多様性モニタリング調査業務（東三河地域）」を遂行する。

④地域インフラ事業の説明会

「三河港関連事業整備計画等説明会」、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を主催し、東三河地域で進むインフラ等の計画・進捗状況について、関係機関と連携しながら会員等に情報発信する。

⑤各種団体との連携・協力

中部経済同友会、浜松経済同友会、三河港振興会、東三河県庁、豊橋市等との連携・協力により、講演会の企画など会員交流や産学官民連携に向けた取組を推進する。

(3) 会員サービス事業

①広報活動の一層の推進

会報誌「MIKAWA-NAVI」（季刊）を本会ホームページに掲載する。
本会主催の各種催事の開催案内などを、本会ホームページでタイムリーに情報発信する。
(URL <https://www.konwakai.jp/>)

②会員（地域）情報の収集とメールマガジンによる発信

本会に関する事業計画や会員の皆さまからご提供いただいた情報を集約した「メールマガジン」を毎月発行する取り組みを継続するとともに、会員への有益な情報の発信に努める。

③会員意見の収集と運営への活用

会員への定期訪問等によるヒアリング調査を実施することで、地域づくりや本会の活動等に関するニーズを把握し、現状活動内容の見直しを行うことにより、会員にとってより価値のある事業運営を実現する。

④会員サービスの質的向上

公益社団法人東三河地域研究センターとの情報共有と連携強化を図り、同センターが保有するシンクタンク機能を活用し、会員にとって有益な産学官民交流および広域連携事業の充実に努める。また、本会ホームページに会員からの有用な情報を無償で掲載する。

⑤「東三河地域問題セミナー」の周知と動員

東三河の現状と将来を考え、地域をリードする人材育成のための基礎的・専門的な知識を得る場として、公益社団法人東三河地域研究センターが主催する当該セミナーを会員内外に広く周知し、動員を図る。

(4) 会員増強

東三河の産学官民交流の場としてのコミュニケーションセンター機能を充実させ、会員相互の交流による地域連携の有益性を訴求し、広く地域の方々に提議する。併せて、商工会議所、商工会の会員企業、青年会議所等他団体との交流を深め、本会に未加入の企業に対する勧誘活動を推進するなど、会員の増強を図る。

令和7年度
収 支 予 算 (案)
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

《 収 入 の 部 》

(単位 : 円)

科 目	令和7年度	令和6年度	令和6年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 会費収入	26,040,000	25,848,000	25,698,000	101.3%	
1) 法人会費	23,400,000	23,070,000	22,920,000	102.1%	
2) 個人会費	300,000	360,000	360,000	83.3%	
3) 特別会費	2,340,000	2,418,000	2,418,000	96.8%	
2. 事業収入	4,365,000	5,041,722	4,552,000	95.9%	
1) 産学官交流サロン	2,400,000	2,810,222	2,620,000	91.6%	
2) 午さん交流会	1,233,000	1,296,000	1,257,000	98.1%	
3) 新春懇談会	120,000	132,000	120,000	100.0%	
4) その他の事業	612,000	803,500	555,000	110.3%	
3. その他の収入	1,793,000	1,094,468	1,030,600	174.0%	
1) 特定預金取崩収入	1,000,000	0	0	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
② 財政調整引当預金	1,000,000	0	0	0.0%	
2) 雑収入	793,000	1,094,468	1,030,600	76.9%	
① 受取利息	13,000	12,468	600	2166.7%	
② 雑収入	780,000	1,082,000	1,030,000	75.7%	
当期収入合計	32,198,000	31,984,190	31,280,600	102.9%	(A)
前期繰越収支差額	6,114,735	5,256,558	5,256,558	116.3%	
収入合計	38,312,735	37,240,748	36,537,158	104.9%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	令和7年度	令和6年度	令和6年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 運営事業費	1,393,000	847,282	1,439,000	96.8%	
1) 総会・理事会費	883,000	818,892	825,000	107.0%	
2) 広報費	0	14,000	14,000	0.0%	
3) 講演・説明会費	510,000	14,390	600,000	85.0%	
2. 事業費	8,870,000	6,552,515	7,780,000	114.0%	
1) 産学官交流サロン	3,600,000	3,645,561	3,600,000	100.0%	
2) 午さん交流会	1,200,000	1,157,227	1,240,000	96.8%	
3) 新春懇談会	740,000	714,139	740,000	100.0%	
4) その他の事業	3,330,000	1,035,588	2,200,000	151.4%	
3. 調査・研究費	11,738,000	11,682,090	11,624,000	101.0%	
1) 調査・研究費	8,680,000	8,616,000	8,566,000	101.3%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,058,000	3,066,090	3,058,000	100.0%	
4. 管理費	9,719,800	8,987,861	9,443,800	102.9%	
1) 給料手当	3,670,000	3,586,010	3,596,000	102.1%	
2) 福利厚生費	645,000	602,247	670,000	96.3%	
① 福利厚生費	5,000	4,539	30,000	16.7%	
② 法定福利費	640,000	597,708	640,000	100.0%	
3) 会議費	10,000	9,870	10,000	100.0%	
4) 旅費交通費	48,000	25,980	48,000	100.0%	
5) 通信運搬費	605,000	524,552	555,000	109.0%	
6) 消耗品費	819,000	391,046	457,000	179.2%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	819,000	391,046	457,000	179.2%	
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	0	0	60,000	0.0%	
9) 新聞・図書費	197,000	192,840	192,000	102.6%	
10) 水道光熱費	310,000	269,235	440,000	70.5%	
11) 賃借料	2,956,800	2,956,800	2,956,800	100.0%	
12) 交際費	36,000	20,917	36,000	100.0%	
13) 諸会費	353,000	347,000	353,000	100.0%	
14) 雑費	70,000	61,364	70,000	100.0%	
5. その他の支出	356,265	3,056,265	956,265	37.3%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	356,265	3,056,265	956,265	37.3%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	56,265	100.0%	
② 財政調整引当預金	300,000	3,000,000	900,000	33.3%	
当期支出合計	32,077,065	31,126,013	31,243,065	102.7%	(C)
当期収支差額	120,935	858,177	37,535		(A) - (C)
次期繰越収支差額	6,235,670	6,114,735	5,294,093		(B) - (C)

議 案 3. 役員変更の件

役 職	退 任	就 任
常任理事	蒲郡信用金庫 理事長 竹田 知史	蒲郡信用金庫 理事長 岡本 聡哉
同	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋支社長 小林 敏博	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋支社長 村田 好章
同	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長 小笠原 敏彦	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長 岩ヶ谷 光晴
同	日東電工(株) 理事豊橋事業所長 井田 太	日東電工(株) 豊橋事業所長 高吉 勇一
理事	(株)トーエネック 豊橋営業所長 池端 伸一	(株)トーエネック 豊橋営業所長 市川 申明
同	日本通運(株) 豊橋支店長 小島 英史	日本通運(株) 豊橋支店長 加藤 充
同	(株)三井住友銀行 豊橋法人営業部長 浜守 基彰	(株)三井住友銀行 豊橋法人営業部長 小松 義明
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長 日野 恵里加	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長 水戸 学
監事	豊橋信用金庫 副理事長 市川 智嗣	豊橋信用金庫 常務理事 宮川 直樹
同	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長 近藤 崇	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長 小川 貴弘

※任期は、令和8年度定時総会の終結の時までとする。

令和7年度 東三河懇話会役員名簿（案）

※太字は変更部分を示す

会 長	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長兼グループ代表・CEO	神野吾郎
副会長	(株)トヨタック 代表取締役会長	小野喜明
同	(株)ニデック 代表取締役社長	小澤素生
同	イノチオホールディングス(株) 代表取締役社長	石黒 功
同	ヤマサちくわ(株) 代表取締役社長	佐藤元英
同	(株)田村組 代表取締役社長	田村太一
専任理事	東三河懇話会	福田裕之
常任理事	(株)アイセロ 代表取締役社長	盛田 智
同	オーエスジー(株) 代表取締役会長兼CEO	石川則男
同	(株)オノコム 代表取締役会長	小野喬四朗
同	蒲郡信用金庫 理事長	岡本聡哉
同	小池商事(株) 代表取締役社長	小池高弘
同	壽鑛業(株) 取締役会長	河合利則
同	サーラエナジー(株) 代表取締役社長	鈴木敬太郎
同	新東工業(株) シニアアドバイザー	久野恒靖
同	鈴与(株) 豊橋支店長	永田智大
同	(株)総合開発機構 代表取締役社長	前田英範
同	総合ポートサービス(株) 代表取締役社長	豊田正博
同	(株)大三コーポレーション 代表取締役	松井孝悦
同	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋支社長	村田好章
同	(株)デンソー 豊橋製作所長	阿部守一
同	トピー工業(株) 豊橋製造所執行役員所長	上手研二
同	豊川信用金庫 理事長	真田光彦
同	トヨタ自動車(株) 田原工場長	瀬理正宏
同	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長	岩ヶ谷光晴
同	豊橋三菱ふそう自動車販売(株) 代表取締役会長	鈴木伊能勢
同	西島(株) 代表取締役社長	西島 豊
同	西日本電信電話(株) 東海支店ビジネス営業部 三河営業支店長	宮本順子
同	日東電工(株) 豊橋事業所長	高吉勇一
同	丸利建設(株) 代表取締役	権田知宏
同	三菱ケミカル(株) 東海事業所 愛知工場長	笠坊行生

理事	アオキトランス(株) 取締役海貨本部長	松永敏之
同	岡崎信用金庫 理事長	田中秀明
同	鹿島建設(株) 執行役員中部支店長	秋田大次郎
同	川北電気工業(株) 代表取締役社長	大津正己
同	(株)サーラホテル&レストランズ 取締役	梅岡浩昭
同	(株)静岡銀行 豊橋支店長	平林秀哲
同	(株)清水銀行 代表取締役頭取	岩山靖宏
同	鈴与(株) 取締役会長	鈴木與平
同	(株)総合開発機構 代表取締役副社長	伊藤信一
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長	二谷 勉
同	大成建設(株) 常務執行役員中部支店長	鈴木淳司
同	(株)中日新聞社 代表取締役社長	大島宇一郎
同	(株)中部 代表取締役社長	樽林孝尚
同	東海CS(株) 代表取締役社長	河合則子
同	(株)トーエネック 豊橋営業所長	市川伸明
同	トピー海運(株) 代表取締役社長	飯塚 剛
同	(株)名古屋銀行 取締役頭取	藤原一朗
同	日本通運(株) 豊橋支店長	加藤 充
同	本多プラス(株) 代表取締役社長	本多孝充
同	(株)三井住友銀行 豊橋法人営業部長	小松義明
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長	水戸 学
同	ユタカコーポレーション(株) 代表取締役社長	大塩啓太郎
監事	豊橋信用金庫 常務理事	宮川直樹
同	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長	小川貴弘
同	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋支社東三河地区統括長	中村 光

(敬称略)

<メモ欄>

東三河懇話会

〒440-0888 豊橋市駅前大通3-53 太陽生命豊橋ビル2階

TEL (0532)55-5141 FAX (0532)56-0981

E-mail info@konwakai.jp

URL <https://www.konwakai.jp/>